

電力需給調整サービス用ネットワーク

再エネの増加に伴う課題；出力変動に対応した電力安定供給の社会実装
気候変動(日照、風況)により発電出力が変動。
変動を吸収、相殺出来る発電設備がないと電力品質悪化、停電。

- 再生エネ出力の減少→火力発電の焚き増し、需要抑制(ネガワット)
 - 再生エネ出力の増加→再エネ発電の抑制、蓄電
- cf.大規模な予備火力発電設備は急速立上げ不可
cf.稼働率の悪い発電設備の資産保持
- 需要家分散型電源の活用 (BEMS、HEMS などの活用)

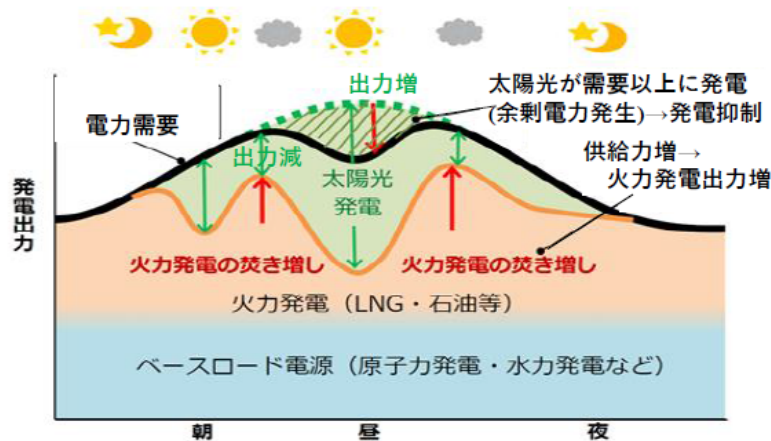


図1. 再エネ導入増に伴う電力需給の必要性

電気学会 産業応用部門スマートファシリティ技術委員会
スマートグリッドの電気事業者・需要家間サービスインタフェース技術調査専門委員会(SGTEC)

- ✓ 需要家の電力資源の新たな付加価値を生むエネルギーサービスへ
 - ✓ 分散する電源設備の監視制御のため通信ネットワークの検討必要
- ⇒ 電力システム / 通信システム双方の分野の専門家による検討 (IoTワーキングパーティによる検討)
- ⇒ 電力需給調整サービス用ネットワークの要件の整理、明確化
電力側への提案文書 (ガイドライン) の作成
(TTC 標準化専門委員会 (IoTエリアネットワーク) と連携)